

上唇小帯切除する場合も



【問い】5歳になる子どもがいますが、上の前歯と前歯の間にすじのようなものが入り込んで歯がすいています。成長するにつれて治りますか。
(佐世保市、33歳女性)

【答え】上唇小帯(上唇の裏側にあるすじ)の異常が考えられます。一般的に上唇小帯は歯が生えていない時期は大きく帯状に存在しています。それが次第に退縮し永久歯が生えそろう頃には高い位置に移動するものです。

しかし、永久歯が生えそろうっても残っている場合は、上唇小帯を切除する方法を取ります。現在5歳というところを考えると、永久歯への交換が近いこともありま

すので、一度診察を受け、経過を観察するために定期的に通院することをお勧めします。

成長期は何かと心配事が増えますが、類似した疾患に舌小帯の異常というものもあり

ます。舌小帯とは舌の裏側にある「すじ」のことですが、この部位に異常を来すと舌の運動が制限され、特にサ行、タ行、ラ行の発音が困難になることがあります。通常は成長過程で細く膜状になることが一般的ですが、退縮の起こらないケースでは、このような症状が現れることがあります。

そこで舌小帯に異常があると診断した場合は切除する方法をとります。4〜6歳で切除することが多いですが、成人してからも行うことがありますので舌に運動制限がある方はぜひ相談してみてください。もし舌小帯に異常がない場合は切除の必要性はありませんので、舌を正しく使用する発音練習などで改善を図っていきます。

今回は小帯という分野に焦点を絞って説明しましたが、成長期は定期的に通院することが重要です。さいなこともわかりつけ医に相談されることをお勧めします。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

前歯の間にすじ

回答者

とよむら
豊村 泰二
佐世保市役所
豊村歯科院長

